



令和6年11月20日

仙台管区気象台

仙台で初霜を観測

11月20日、仙台で初霜を観測しました。

平年より 6日遅く (平年は 11月14日)

昨年より 6日遅い (昨年は 11月14日) 観測です。

参考資料

1 初霜とは

霜は空気中の水蒸気が昇華（しょうか）※して、地面や地物に付着した氷の結晶です。結晶はうろこ状、針状、羽状または扇子状の形をしています。

「初霜」は秋から春に至る期間に初めて霜を観測した日です。

※気体から直接固体に変化すること。

2 観測方法

露場（ろじょう）もしくはその周辺の状態を目視により観測します。観測単位は「日」となります。

3 これまでの観測記録

仙台管区気象台では1926年（大正15年）から観測を行っており、これまでの一番早い記録、一番遅い記録は以下の通りです。

一番早い記録（最早）：1944年10月 3日（昭和19年）

一番遅い記録（最晩）：2004年12月 3日（平成16年）

問合せ先：仙台管区気象台気象防災部 観測整備課

担当：毛利 電話：022-297-8106